

丘の 暮ら しの 上

SHONAN UP HILL

海の近くの丘の上。そこには、内陸の山間部とは違った、明るくのびのびとした雰囲気があふれている。

たとえばハワイ・マウイ島にあるマカワオという町。

ハレアカラに向かって海からわずかな距離にあるアップヒルの町は、海辺とは違う花々が咲き、

パニオロ(カウボーイ)タウンが広がり、にぎやかなビーチサイドとは異なる落ち着いた雰囲気をたたえる。

そんなアップヒルタウンの暮らしが、湘南にもある。

丘の上から海辺まで、ちょっと広い目で湘南を見渡してみよう。

文◎富山英輔、飯田麻衣子 写真◎水野佳世、大辻綾子

海まで20分の高原のような暮らし

広い芝生の庭の向こうに建つ、木をふんだんに使ったカントリー風のナチュラルな家。周囲は緑に覆われ、鳥たちの声が聞こえる。そんな高原のような生活が、茅ヶ崎の丘の上にはある。



玄関から一歩外に出れば、土に触れ、緑に触れ、たっぷりの自然が広がる。左はかわいい子供部屋



プライベートな生活スペースと屋外がゆるやかに繋がっていくさまが心地いい



(右) 窓は緑のピクチャーウィンドウ。(左) この場所で自然に抱かれた生活を手に入れた小形さんファミリー



(上) インテリアコーディネーターと造園を手がけている美栄子さん。(左) 庭の一角には立派なツリーハウスが



丘の上の暮らし

SHONAN UP HILL_1

所に出合い、そこに自分たちが思い描いた生活のイメージが実現できることを感じた。

「雑木林のなかの小路を見つけ、決めたいです」と奥様。

それから、木々を整理して整地し、家を建てる作業が始まっ

辻堂駅からクルマで15分ほど丘に向かうと、そこにはのどかな丘陵地帯が広がる。高い空、スケールの大きな風景、点在する畑、ゆったり流れる時間。茅ヶ崎里山公園周辺は、湘南アツプヒルの魅力をよく表現している。メインストリートから外れて舗装されていない細い路地を入ると、そこには緑の庭と木の家がある、まるで映画のなかのような風景が広がっていた。

この家の主は、小形究さん、美栄子さん夫妻。自然があふれる山側の暮らしを求めて土地を探していたふたりは、また木々が生い茂り雑木林だったこの場

た。実は小形さん、コナラハウスという会社を営んでいる。自ら現場で手を動かすことを大切にしなが、設計から施工まで手がけるホームビルダーだ。奥様はインテリアコーディネーターと造園を担当。木のぬくもりを大切にしたい、自然を感じる家づくりを、夫妻で行なう。

しかし、室内に入ると、この家が単なるカントリーハウスではないことがわかる。ナチュラル

ルななかにモダンなテイストを上手くアレンジし、しかし使い勝手よく仕上がっている。そして、外と室内の境には、使い勝手のいいスクリーンポーチ。自然のなかで心地よく暮らす、あるいは町にいながら自然を感じて暮らすかたちを、彼らは自分の家を建てながら模索したのかもしれない。そしてこの家は、彼らの暮らしぶりとともに、その成果を十分に伝えてくれる。



スクリーンポーチは網戸があるので快適に過ごせ、日常の食事にも利用する生活の場の一部

畑の景色が生活の一部

リビングからバーゴラのあるテラスに出れば、自分たちの畑と、その向こうに谷合の景色が広がる。四季折々に変化するその眺めと、そこにはあふれる緑の匂いが、きっと彼らが長年ここに暮らし続ける理由だろう。

茅ヶ崎市行谷。谷を行くと書いて「なめがや」と読むこの場所、自らの畑と、その先に続く谷あい景色を眺めて暮らすご夫妻がいる。野中良幸さん、かおるさん夫妻。ともに自然が好きなおふたりは、結婚してすぐにここで暮らし始めて以来、もう30年になる。

しかし、野中さん、以前は都内に通勤する会社員だったから、早朝に家を出て夜遅くに帰ってくる生活を続けた。それでも、ここで暮らし続けたのは、この景色と、土が近くにある暮らしを捨てられなかったからだろう。季節ごとに変化する緑や花々の様子や、収穫した野菜、時々姿を現す動物たちが生活の一部としてある喜びは、多少の不便を払ってでも捨てがたい。

そんな生活を経て、2年前の秋に仕事を引退。「今ではすっかり暇な生活を満喫していますよ」と野中さんは笑う。それにしても、仲のいいご夫妻だ。一緒に畑に出たり、景色を眺めながら食事をしたり、同

じ時間を共有しているからこそ、きっと話題に事欠かないのだろう。室内も、バーゴラがあるテラスも、5年前にリフォームしたというこの家では全てが花と緑の畑に向かって意識が注がれているように思えた。そして、本棚の横には、旅先での写真が飾られている。

これから春、そして初夏になれば、丹精込めたバラの花や、チューリップ、あるいは畑の野菜たち、そしてその奥に植えたカスミ草が花と緑をたたえ、それは素晴らしい景色になるのだという。その様子をぜひ見てほしいと、ご夫妻は何度も口を揃えて。



(上) 芽を出し始めたバラに目をやる野中さん夫妻。奥に見えるのは新しくつくった農機具小屋だ。(右) こちらはダイニングからの眺め



テラスから数段の階段を下りれば自分たちの畑。楽しそうな暮らしぶりが伝わってくる



(左) コーナーごとに違う景色を楽しむ。(右) 以前は夏になると茅畑の緑が一面に広がった。ここは茅ヶ崎である